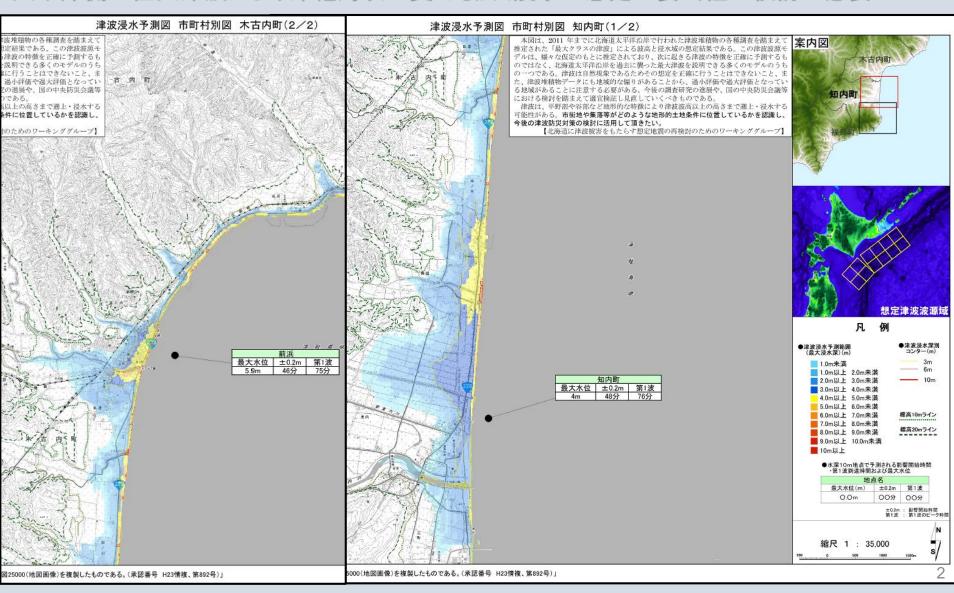
資料3

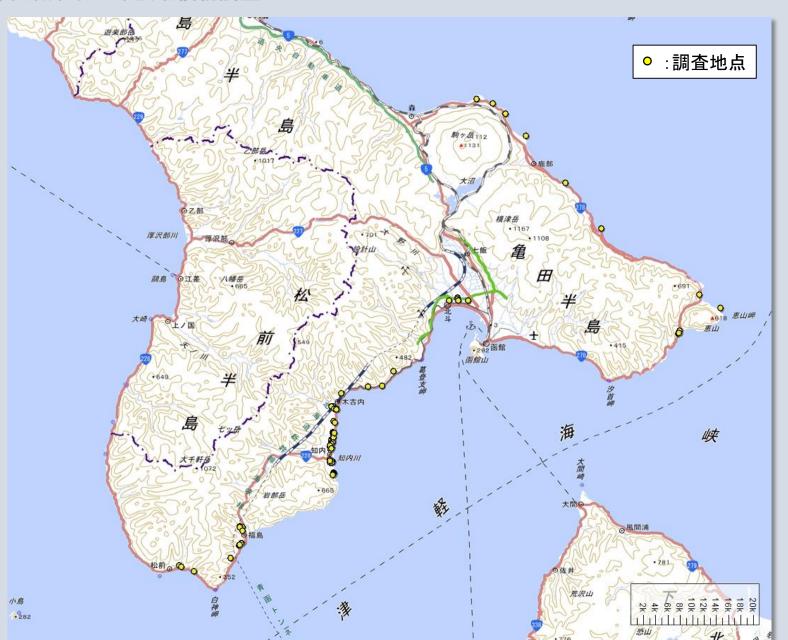
道受託研究:津軽海峡沿岸域における 津波堆積物調査

津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

太平洋側の巨大津波により津軽海峡の奥でも広く浸水→想定の妥当性の検討が必要



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査



道受託研究 平成29年度津波堆積物調査業務 津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査 木古内町橋呉 G.L.=2.5 m 海岸線から70 m 函館市高岱町 (m) 0 G.L.=6.7 m 海岸線から150 m 知内町中ノ川 知内町森越 (m) Ko-d G.L.=6.7 m G.L.=4.2 m 海岸線から460 m 海岸線から240 m 760–675 cal yBP (m) (m) 0 0 Ko-d Ko-d 630-515 cal yBP [B-Tm B-Tm 2 ⇒ 2120-1950 cal yBP 3230-3065 cal yBP 2040–1895 cal yBP 3060–2875 cal yBP-1 2 -人工改変土 有機質粘土 (盛土・客土等) テフラ 粘土 土壌 細粒砂 (黒ボク土・クロスナ含む) 泥炭 14C年代測定層準 中粒砂 泥炭質粘土 年代測定結果 木片

津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

【イベント堆積物の対比】



現在

駒ヶ岳d火山灰(Ko-d)

(西暦1640年)

17世紀頃(道東・日高・胆振・ 噴火湾•下北)

イベント砂層1

12世紀後半~15世紀

白頭山一苫小牧火山灰(B-Tm)

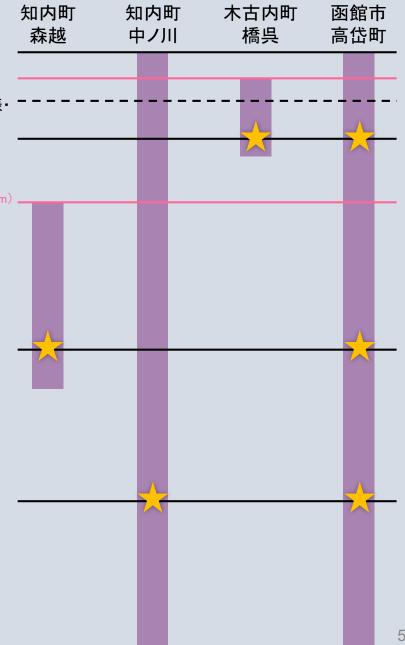
(約1000年前)

イベント砂層2

(約2000年前)

イベント砂層3

(約3000年前)



津軽海峡沿岸域の津波堆積物調査

- ◆ 北海道~青森県の太平洋沿岸で広く知られる17世紀の津波堆積物は、 津軽海峡沿岸では確認できない。
- ◆ 12~15世紀の津波イベントは下北 半島および北海道東部で知られて おり、いずれか、もしくは両者に対比 できる可能性がある。
- ◆2000年前頃のイベントは北海道東 部では知られているが、下北半島で は未確認。
- ◆3000年前頃のイベントは、北海道東部と対比できそうだが、下北半島では年代決定精度が悪く、対比できるか判断できない。
- ◆ H24浸水想定は17世紀の津波をモデルにした計算ではあるが、過去に別の津波による浸水があった可能性が示されたことから、防災上の想定としては妥当と判断される。

